

# オオキンケイギクは「特定外来生物」です！

オオキンケイギクは、5月～7月頃にかけて、鮮やかな黄色の花をつけます。そして、日本の生態系に重大な影響をおよぼすおそれがある植物です。



「特定外来生物」とは、外来生物法（「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」）により、生態系などに被害を及ぼすものとして指定された生物です。

外来生物法では、特定外来生物に **指定された生物を飼育・栽培・保管・運搬・販売・譲渡・輸入・野外に放つことなどを原則禁止** しており、違反すると罰則があります。

## オオキンケイギクの特徴

- 花びら（舌状花）の色は黄色で花の中央部（管状花）も同じ色です。
- 品種によっては花びらが八重のものや、花びらの基部が紫褐色のものもあります。
- 花びらの先端は不規則に4～5つに分かれます。

- 葉は、細長いへら状で対生です。
- 葉の両面には荒い毛があります。
- 葉の周囲はなめらか（鋸歯がない）です。
- 葉の一番幅がある部分の幅は1cm程度です。

直径 5～7 cm

草丈 30～70 cm

葉が対生

裂片は橢円形

## オオキンケイギクを処理するときの注意

オオキンケイギクは多年草であり、地中に種子が残っていることから、簡単に駆除はできません。根から抜き取るのが一般的ですが、種子の拡散を防ぐには種子ができる開花期の前に、地上部を刈り取ることが必要です。また処理をする際には、種子が拡散しないよう袋に密閉して枯死させた後で、燃せるゴミとして排出して下さい。場所によっては除草剤による駆除も効果的です。拡げないようにするためには、種子をつける前に駆除することが望されます。

### 駆除の流れ

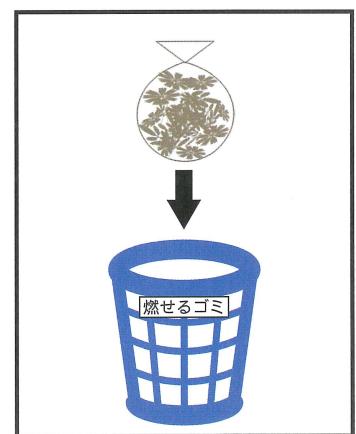
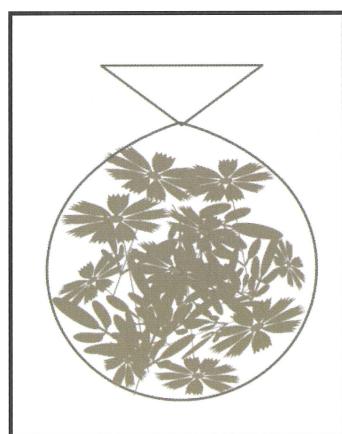
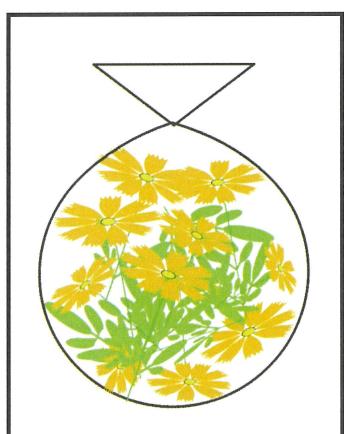
#### 根から抜き取る



#### 地際で刈り取る



多年生植物なので、駆除できるまで毎年行う。



飛び散らないように袋などに入れ、枯死させたのちに処分する。

問い合わせ 横須賀市環境政策部自然環境共生課 TEL : 046-822-8559 FAX : 046-821-1523

E-mail : ne-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp